雑草地を芝生で覆い、草刈りを省力化!!
種子吹き付け工法で 高効率・低コストな芝生化を実現!!

補助金を使った施工事例が多くあります

芝生にすることで夏場の草刈りを軽減

センチピードグラスという芝生で畦畔を覆うことで、雑草が生え難くなるため、草刈り（特に、夏の暑い時期）が軽減されます。また、芝生の根がしっかりと土を保持すると共に、美しい景観となります。

作業効率の良い工法で施工費用を削減
特許技術（第4848436号）と豊富なノウハウでサポートも充実!!

費用を抑えた工法

種子吹き付けは苗植えや張芝等、他の工法と比べ作業効率が良く、費用を抑えて大面積を施工出来ます。また、施工に使用できる補助金もございますので、是非ご相談ください。

無料の説明会

芝生化のメリットやデメリットについて無料説明会を行っています。集落営農組織様や農業法人様からのご依頼も多く、小規模な説明会でもお伺いしますので、お気軽にご依頼ください。

徹底した準備・管理指導

芝生化へ向けた準備、芝生化した後の管理はとても重要です。適切な時期に正しい作業を行っていただくため、現地で丁寧にご説明します。

多くの都道府県で広く施工実績があります

"楽"を創造する
有限会社だるま製紙所
お問い合わせはこちら
☎0898-66-5057
〒799-1325
愛媛県西条市新市396番地2
MAIL：daruma-seisi@s8.dion.ne.jp

準備と管理について

草刈りは無くなりますか？

A.芝生の維持管理として必要です

芝生化した後も草刈りが無くなるわけではありません。芝生の状態を維持する為に行う必要があります。しかし、回数が減ること、夏は必要ないこと、雑草地と比べると草刈りが楽であること等、今までの草刈りとは様々な点で違ってきます。

雑草が少なくなり
除草作業が
楽になります

どのような準備が必要ですか？

A.除草剤を使用して雑草を枯らします

適切な時期に除草剤を使用し雑草を枯らしていきます。除草剤による畦畔・法面の崩落を心配されますが、数年にわたり使い続ける訳ではなく数回の使用のみであり、雑草の根の残渣が土中に残っている内に芝生が根を張りますので、崩落することは殆どありません。（崩落の危険がある、元々の地盤の緩い箇所については施工をお勧めしません）除草剤の濃度やタイミングは、現場状況を確認させていただき効果的な使用方法をお伝えします。

どのくらいの期間、維持できますか？

A.管理状況で変わります

完成後すぐ

9年後

維持するためには管理が重要です。適切な管理を行えば長期間にわたり芝生状態を維持できます。具体的には、毎年行う芝生の刈込みと、数年に一度の除草剤散布です。何もせず放置すると次第に雑草地へと戻ってしまいます。

小面積の試験施工も実施しています。是非お問い合わせください